

八代市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化をはじめとする気候変動により、世界各地で記録的な猛暑や大雨などの異常気象が発生しており、今後、さらに自然災害のリスクが高まると予測されています。本市坂本町を中心に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」も、地球温暖化の影響が指摘されており、気候変動は、私たちの生活に深刻な影響を及ぼしつつあります。

2015年に合意されたパリ協定では、世界的な平均気温の上昇を産業革命以前から1.5℃に抑えるよう努力するとの目標が掲げられました。また、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、この1.5℃目標の達成のためには、2050年頃までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

本市は、豊かな水に魅かれて肥沃な土地を拓き、長い歴史の中で築かれた文化と限りない自然の恵みを受けながら生活してきました。地球市民という自覚のもと、この豊かな環境をより良い状態で将来の世代に引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務であると考えます。

ここに八代市は、持続可能な脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言します。

令和4年2月28日

八代市長 中村博生